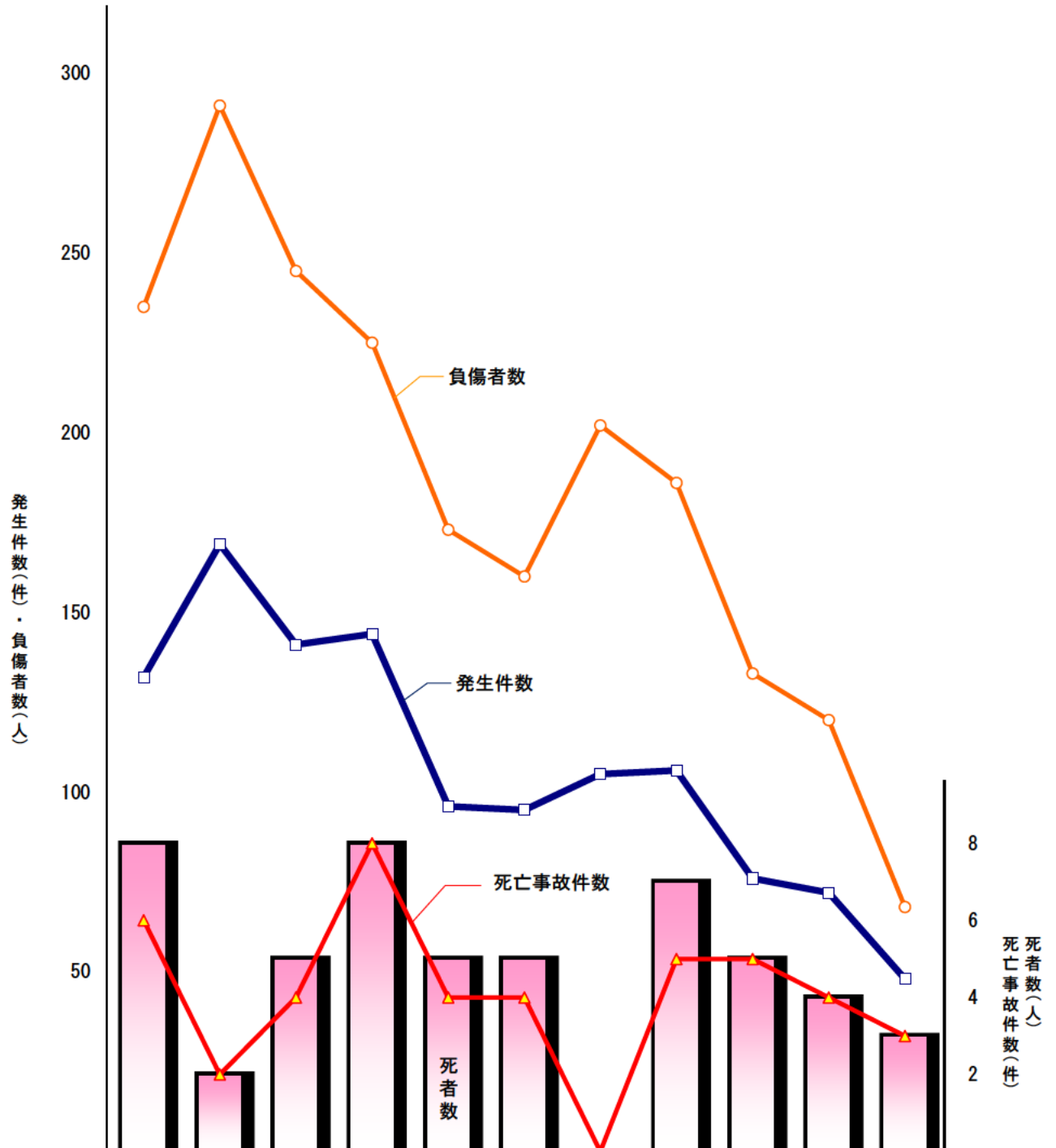


第11

高速道路等の交通事故

1 推移(平成22年～令和2年)

発生件数は平成23年の増加以降、減少傾向で推移、平成30年からは3年連続で減少しています。過去10年間の死者数では、平成22年・平成25年の各8人が最も多く、令和2年は3人でした。

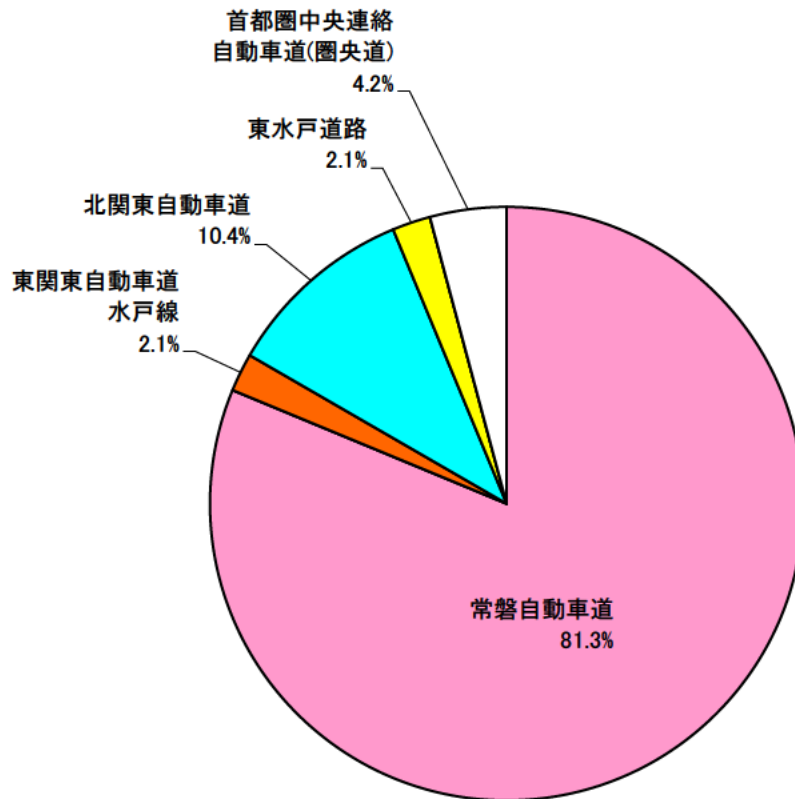


	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
発生件数	132	169	141	144	96	95	105	106	76	72	48
死亡事故件数	6	2	4	8	4	4		5	5	4	3
死者数	8	2	5	8	5	5		7	5	4	3
負傷者数	235	291	245	225	173	160	202	186	133	120	68

※1 県内の高速自動車国道(常磐道・東関東道・北関東道)及び自動車専用道(圏央道を含む)の道路上で発生した事故を対象とした。
 ※2 死亡事故件数は発生件数の内数である。

2 路線別

路線別の発生件数は「常磐自動車道」が81.3%で最も多く、路線別方向別では「常磐自動車道の下り」が最も多くなっています。



			発生件数		死亡事故件数	
			小計		小計	
高速 自動車 国道	常磐自動車道	上り	16	39	1	3
		下り	23		2	
	東関東自動車道	上り				
		下り				
	東関東自動車道 水戸線	上り		1		
		下り	1			
北関東自動車道	西行き	3	5			
	東行き	2				
専 用 道 車 路	東水戸道路	西行き		1		
		東行き	1			
	常陸那珂港南線	西行き				
		東行き				
	首都圏中央連絡 自動車道(圏央道)	内回り		2		
		外回り	2			
合 計			48		3	

※「死亡事故件数」は発生件数の内数である。